

後閑小学校区 地域説明会 会議録

- 日 時 令和8年1月30日(金) 14:30 ~ 15:30
- 場 所 後閑小学校 多目的ホール
- 参加者 地域住民 8名
- 傍聴者 (オブザーバー) 市議会議員 0名

1 再編準備委員会の設置等について

事務局 資料に基づき説明

2 質疑・応答

住民 A 以前の説明会の案内は届いていたが、市として既に決定しているのだろう
と思い、子どももいないので、説明会を欠席しました。私個人の考えである
が、沼地区は子どもがいない。だから、私も統合されていくのは、時の
流れというか、もう仕方ないのではないのかなと思います。ただ、小学校
がなくなる。その前には保育園がなくなった。それから中学校もなくなる
ということだから、後閑地区から公共施設がなくなってしまう。後閑地区
が疲弊していく。老人ばかりになるということが、一番懸念されてるとい
うか、事実ですので、そういうことは寂しい。私個人としては、学校が統
合されたりするのは、これはもう仕方ないなと思ってます。だから、別
に、学校が統合されることについては、私は何も反対する根拠もないし、
何も無いが、地区が疲弊しているというのは、非常に残念だなと思いま
す。玉野市がいかにか、この市を盛り上げていくかという基本的な概念が欠
けているのではないかと思います。こういうことになるということは、や
はり、玉野市に定住をする若い人が少なくなっている。日本で出生した子
どもが昨年は77万人ぐらいか。私たちの時の3分の1である。統合して
も、中学校はなんとかなるのか。将来的に10年、15年先、何人になるか
ということである。また、統合することになるのではないのか。胸上小学
校もしかるべきである。目先のことを考えるのではなくて、やはりその先
を考えてどうするか。例えば、小中一貫校といったものをやはり市として
考えるべきではなかったのか。案はあったかもわからないが、そういう中
で、やはり市としては、それについてどちらの方法が良いかという問いか
けも市民にはしていない。そのような手順を踏んでいかないといけないの
ではないかと思います。

事務局 ご意見ありがとうございます。市全体での人口減少対策は、学校再編のみ
ならず、例えば、子どもの数が減少しているのであれば、子育て支援策、
地域が寂れていくのであれば、地域の方々の思いを踏まえて、跡地利用の
検討など様々な施策を総合的に展開していく必要があることは、重々、承
知しています。実際、跡地利用については、学校の閉校と合わせて検討す

ることが必要であると考えています。現在、玉野市役所の15の部署が参加して、学校がなくなる地域を拠点に、こういったものが必要とされてるのかなど地域ニーズを踏まえながらこういった形で活用していくのかの検討を進めているところです。日本全国、これだけ人口自体が減っている中で、玉野市も加速度的に人口が減ってる状況ですので、市のほうで移住施策でありますとか、子育て支援施策など、そういったところを長期的な視点で検討しております。いただいた意見を関係部署にも伝えた上で、市全体でこの市を盛り上げていこうと考えております。

住民 B 3年ぐらい前に後閑小がなくなるようなことを聞いて、それが全体ではなくて、多分、一部の保護者の方がそういうことを聞いて、親が我が子を、他の地域の小学校へ通わせている話を聞きました。それから10年程前に、急に保育園がなくなるのを聞いて、びっくりした。それぞれ自分の子どものことを考えて、後閑小の方も少なくなってきた。基礎の保育園がなくなるということは、自然に小学校までなくなるのかなと感じて、涙が出るくらい寂しかったんです。結局、保育園がなくなって、7年、8年後にこういう話が出てきてるんです。この地域は自然もあり、小さいながらも学校の卒業生には優秀な方々もいたりします。今回の閉校についての決め方というのが、市民は全然わからなくて教育委員会、市の方が、地域のことを考えているのか、私は、理解できなかったんです。市が本当に、この自然豊かなところに学校がなくなるということ、地域の活性がなくなること、高齢者が残ることになるので、もう少し前に、この後閑地区の方ときちんと話し合いをしてくださったら良かったのかなとは思っています。

住民 C 私は、玉野に移住して3年目です。この後閑に住んでると、山田中学校もなくなって、確かに寂しいなと思うんですけど、こんなに良い建物やかわいいグラウンドとかすごい良い施設だし、跡地を、例えば、地域の方たちが来られるような場所とか、そういうふうになっていけば良いなと思うんです。そういうことはどこに聞きに行けば、参加出来ますか。例えば、ここの学校を、みんなで話し合っただうやって使っていくかとかは、どこに聞きに行けば良いですか。

事務局 跡地利用の関係は、政策企画課という部署の担当になります。今、プロジェクトチームを設置していて、基礎的な情報や課題を整理をしているところです。来年度、政策企画課が主になり、今後の小学校の跡地も含め整理した上で、跡地利用の基本方針を検討していくと聞いています。来年度になって地域の皆様の声を踏まえて方針を立てていくと聞いています。政策企画課にご

意見をいただければ良いと思います。

住民 C そういう時に僕もその話し合いに参加できたり、発言ができたりできればいいなと思っています。ここにいるみなさんが、これからここをどうやって使っていくのかということに知る機会や参加する機会をお願いしたいと思います。

事務局 今後の学校跡地利用について、ご協議・ご相談させていただくことはもちろん、地域住民の方のご意向をどう踏まえていくのか等、基本方針の中に整理していくと思いますので、そういうご意見があったということを担当部署にしっかり伝えておきます。

住民 D ここの学校が出来たのは、地域運動によって出来たんです。その経過などを知っていますから、閉校になるというのは残念です。私の子どもは4人、ここの小学校へ入学し卒業しました。この校舎です。それから、孫も3人、この学校で入学し卒業しました。学校の出来た経過を最初から知っておりますから、この学校に対する思いもとても強いです。多い時には100人ぐらい児童数がありました。その頃、ここの保育園を校庭の中へ作ったら良いのになと言っていました。今は、サンマリンか、田井か築港の方へ行かないといけな。こんなに良い場所があるんだから、ここに保育園を作ってほしいなという意見もあります。それから、大藪の方で、こんなにいい校舎があるんだから、スクールバスを使うんだったら、胸上の方もここに来てもらえばと言っていました。こんなにきれいな校舎もあるし、プールもあるし、体育館もあるしと、親たちの中には、そういう声があります。少しの出資は必要ですけど、本当に保育園を作ってほしいという声もあります。

住民 E 1月19日にチラシが入って、「まだ間に合います。賛成か反対か言いましょう」というチラシが入っていて、これを書かれた方は1月16日も説明会にお見えになってませんし、今日は来られてるんですか。来られてないんですね。昨年、12月にチラシが入っていて、7、8割の賛成が得られなければ、統廃合は進められないとか、書いてあったようなのですが、今年の1月に閉校についてということで、実際、どんなことになっているのかと思って、1月16日の夜、説明会に参加させていただきました。今日こちらに来られてる方は、恐らく反対されている方がおられると思いますが、私はもう仕方がないかなと思っています。本当に歴史ある小学校で、非常にもったいないなと思っています。父は転勤族で、私と弟は全然、こちらで住んだこともないし、育ったこともないんですけども、18年前に私は帰って来ました。その頃は、100人ぐらい児童がいました。100人で

もちょっと少ないなという感じだったんですけど、前回、1月16日にこの資料を見させていただいて、こんなに少なくなってるのかと思いました。20年も経つと、こんなふうになるのかなということで、市としても、色々考えておられると思いますし、先ほど言われてましたが、寂しくなるということは、みなさんあると思います。私たちは、こういうチラシが入って、「あっ」って気がつくんですけど、各世帯にアンケートとかっていうのはされていたのでしょうか。ここに子どもさんを通わせている方の保護者さんは、絶対にやめてほしいという気持ちもすごくわかるんですけど、時代の流れで、そうせざるを得ないのだろうなという理解はしております。前回、校長先生も、やはり子どもが少ないので、教室を一緒にしたりとか、違う学年同士でやったりとか、お友達が少なくてかわいそうなんですっておっしゃったので、そうなんだと思いました。話されていない方も、ここがなくなるっていうのは、地域に住んでる者としては、みんな寂しいんですね。私自身は、時の流れではないですが、少子化のこのような時なので、しょうがないってわけではないんですが、前回来た時も、もう決まってるんだなっていうことでの説明会であって、もう統合することありきでのお話なんだなと思って聞いておりましたし、今日、前回来られなかったっていう方が、来られるのかなと思ってきました。私も、いろんな人と近場の人との付き合いはないので、いろんなことも知りたいなと思ってます。年齢的にも今年、後期高齢者になりますので、そういうことで地域のことで、お役に立つようなことがあったらいいなっていうのもありまして、また、来させていただきます。今後ともお願いいたします。

住民 A 教育委員会で、今後の児童数・生徒数というのは、つかまれているんですか。増えるのか、減るのか。減るのはわかっていますけれど。

事務局 住民基本台帳上の数字から、推計をさせてもらっています。令和6年度中に生まれた子どもの数は、214人です。令和7年度は、200人を切りそうな状況です。6年後ぐらいにその子たちが、小学校1年生になります。市内全体で生まれた子どもの数が200人ぐらいの状況が、ここ数年続いている現状があります。

住民 A 統計で見て、80年後には、1億5,000万人を割るからね。そうなったときに、そんな先の話じゃなくて、目先の10年、20年がどうなのかっていうことです。さっき私が言ったように、東児中学校と山田中学校が統合して、いつまで残るのかということ。あるいは、後閑小学校・山田小学校で胸上小学校もいつまで残るのか。そこまで見据えてやらないと、目先だけでやられると、結局こういう問題が出てきて、そこで賛否両論ありますよね。だからこ

うということばかり続けても、しょうがないなと思うんです。子どもが減るのだから、将来的に、20年、30年先を、市としてどういうそういう教育、校舎をどうするか、教育方針をどうするかなど大きな目標を立ててやってもらいたいんです。その目標ができれば、必ずいろんな対策ができてきますから、目先だけで、みんな反対するからということで説明会を開くのは、そんなのはナンセンスです。統合するんだったら、その前に例えば、通学はこういうふうにしますって具体的なことを先に出して、どうですかという出し方をしないと、反対に「通学はどうするのか」とか、やっぱり、質問が来ます。「まだ決まってません」って、そんなのは説明会ならないんですよ。そういうことで、いろんなことをやるのであれば、行政として事前に細かいところ、かゆいところに手が届くようなことをしてもらわないと、市民は反対しますよ。不安だから。きちっと方針が決まって、こうなりますと決めてから発表してほしい。やりたいなということでやると上手くいきません。時間もかかりますし。

住民 B 私は9人兄弟の末っ子の9番目で、子どもが9人いて、孫が18人。その孫の下にひ孫が32人いて、2人の親からものすごい数の子どもがいて、それが一番の財産です。親から受け継いだ娘が、また32人のひ孫が、今、大学生や社会人になって、また結婚したり、本当に2人の親からすごい多くの子が育ってます。子どもたちは、卒業した学校がなくなるというのは、本当に寂しいなと話をしています。この地域のみんなの学校がなくなるということで、悲しく思っています。そういうことを、市の方も忘れないで、それぞれ頑張ってください、この地域が栄えるように考えてください。お願いします。

教育長 みなさん、本日は、貴重なご意見を本当にありがとうございました。地域の皆様が学校を思う気持ちは、我々も十分理解してるつもりです。この学校は、明治6年に開校され、本当に歴史のある学校です。とはいえ、ご承知のように、今、後閑小学校の在籍児童数は13名。通常学級が、今、2学年いなくて、2クラスというような状況です。我々も小規模のメリットを最大限に活かして、デメリットをカバーするため、非常勤講師などの配置をして、ここまでやってまいりました。この令和7年度につきましては、教頭が配置できないという状況で、これは困ったということで、1学期、校長先生のほうには色々ご尽力していただいて、色々様子を聞かせてもらいました。そして、これは安心・安全から言っても、教育の質から言っても、非常に大変な状況だということで、今のこの説明会に至っています。今、岡山県に小学校の数が、約370あります。大小さまざまな学校がありますけれど、370ある学校で、教頭が未配置の学校は、4校だけです。2

つは、笠岡の島です。北木島、児童が2名。それから、六島、ここも児童が2名です。もう1つは、赤磐市に笠岡小学校という、全校児童10名の学校で、ここは、この4月から統合が決まっていて、令和7年度は教頭未配置で学校運営をしています。そういった中で、あとのもう1つが、この後閑小学校です。やはり、児童・生徒のこれからのことを考えると、やはり集団教育が必要ということで、この令和7年度の様子を見て、令和8年度末で閉校にさせていただいて、その後、胸上小学校あるいは田井小学校で集団の中で、学びを深めていっていただいて、さらに次のステージで活躍していただきたいということで、地域の皆様には、本当に申し訳ないとは思いますが、後閑小につきましては、令和8年度末で閉校させていただきたいと思っております。なかなかご理解はしていただけないと思っておりますが、未来を生きる子どもたちのために、ご理解いただけたらと思っております。本日はどうもありがとうございました。